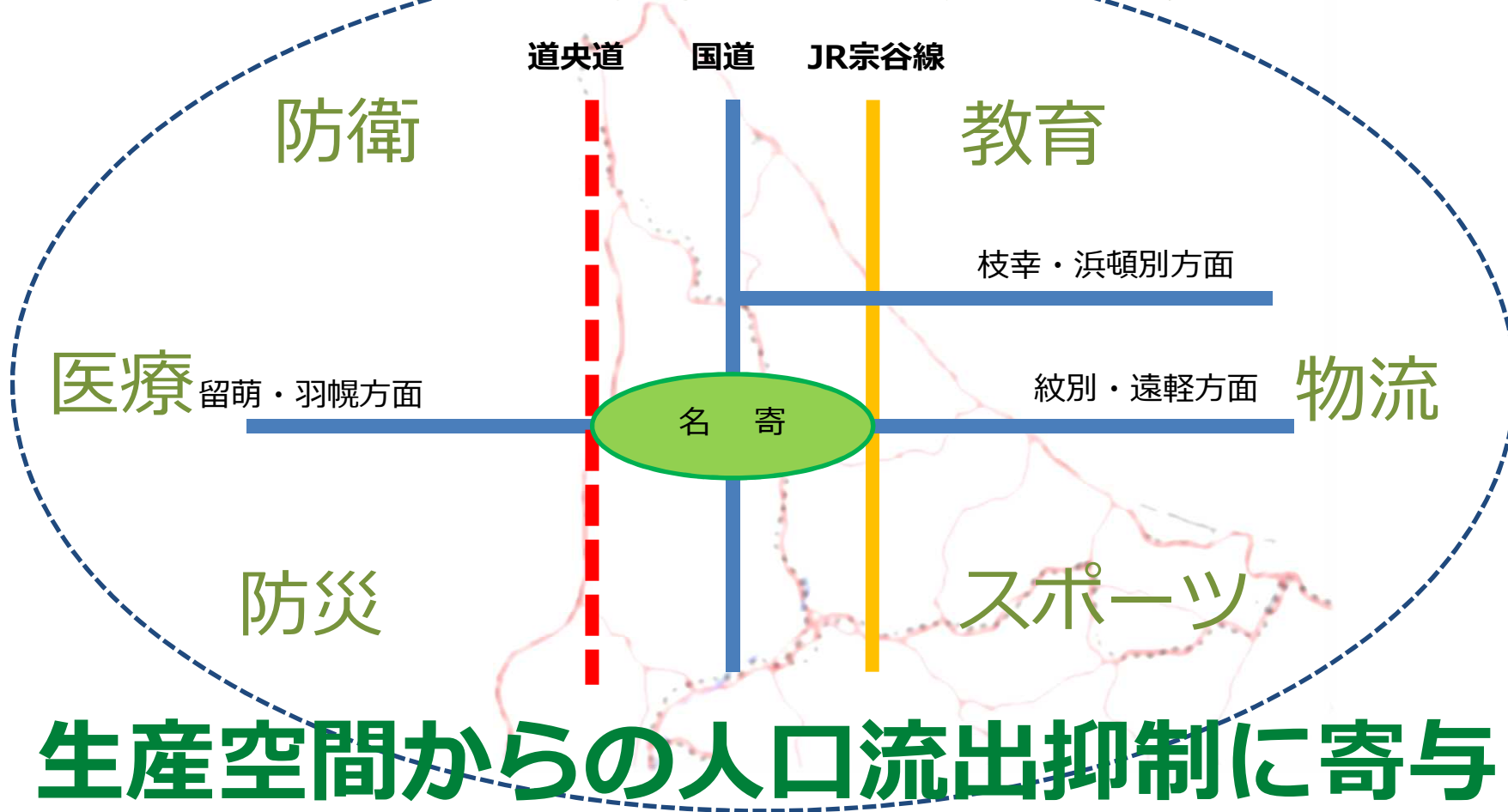


物流拠点化構想に向けて

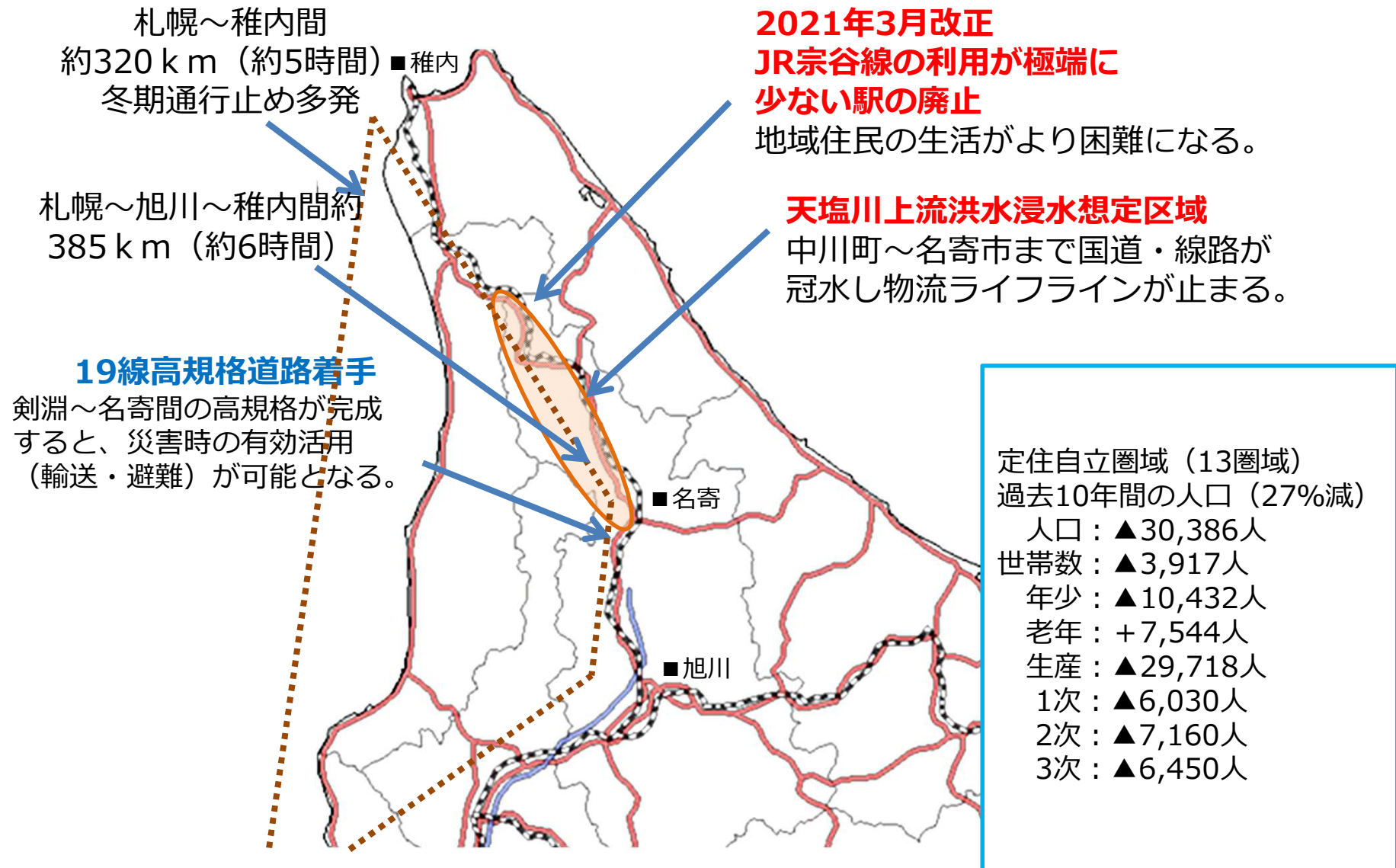
令和2年7月31日

01 拠点化が目指すゴール

地域の生産者様や企業様が主体となり、名寄市を中心とした
周辺地域の「生活利便性向上」と「産業活性化」に貢献し
都市部と変わらない生活環境を創出する



02 周辺地域の取り巻く環境

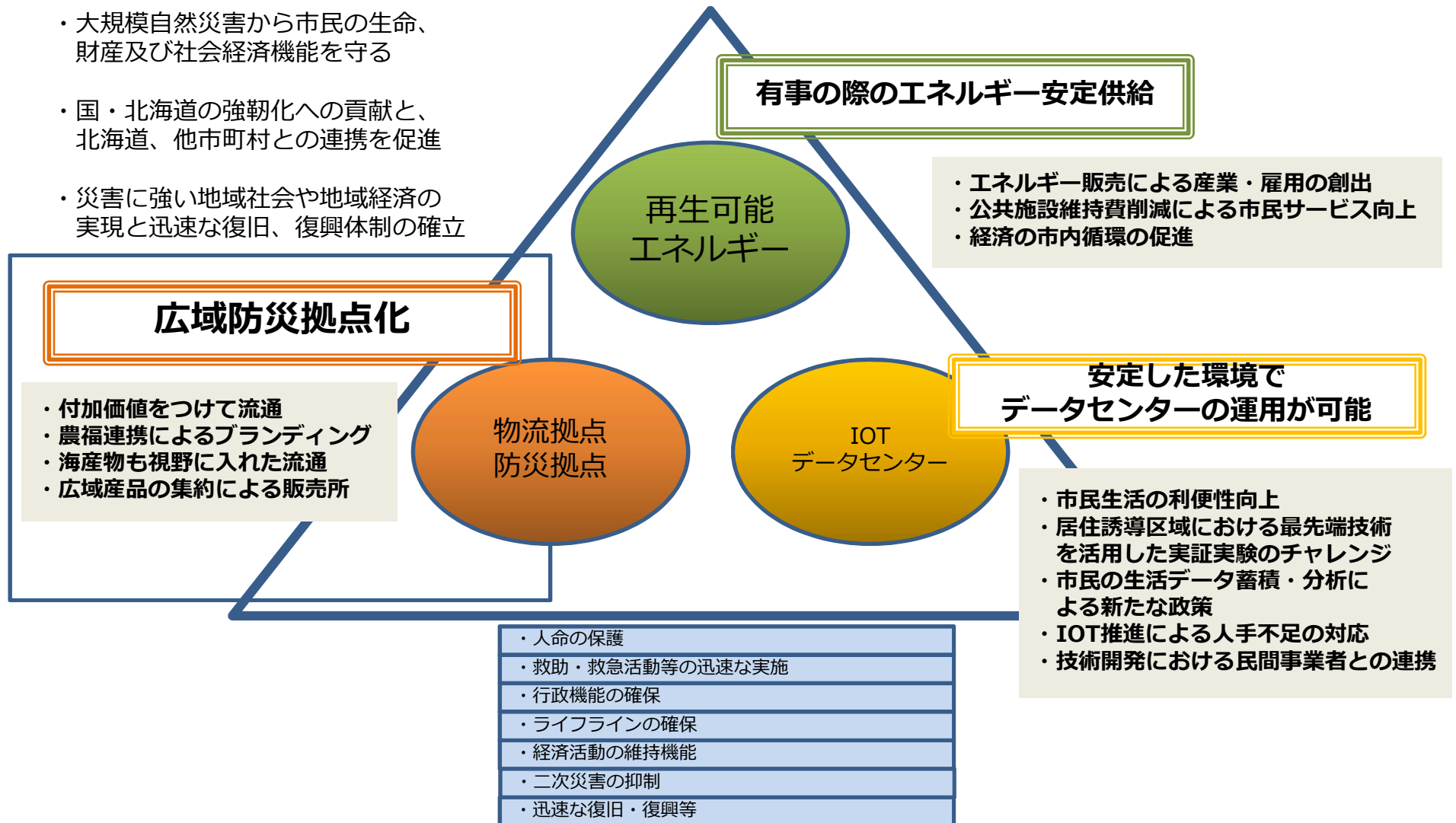


03 拠点化構想

名寄市強靱化計画

目標

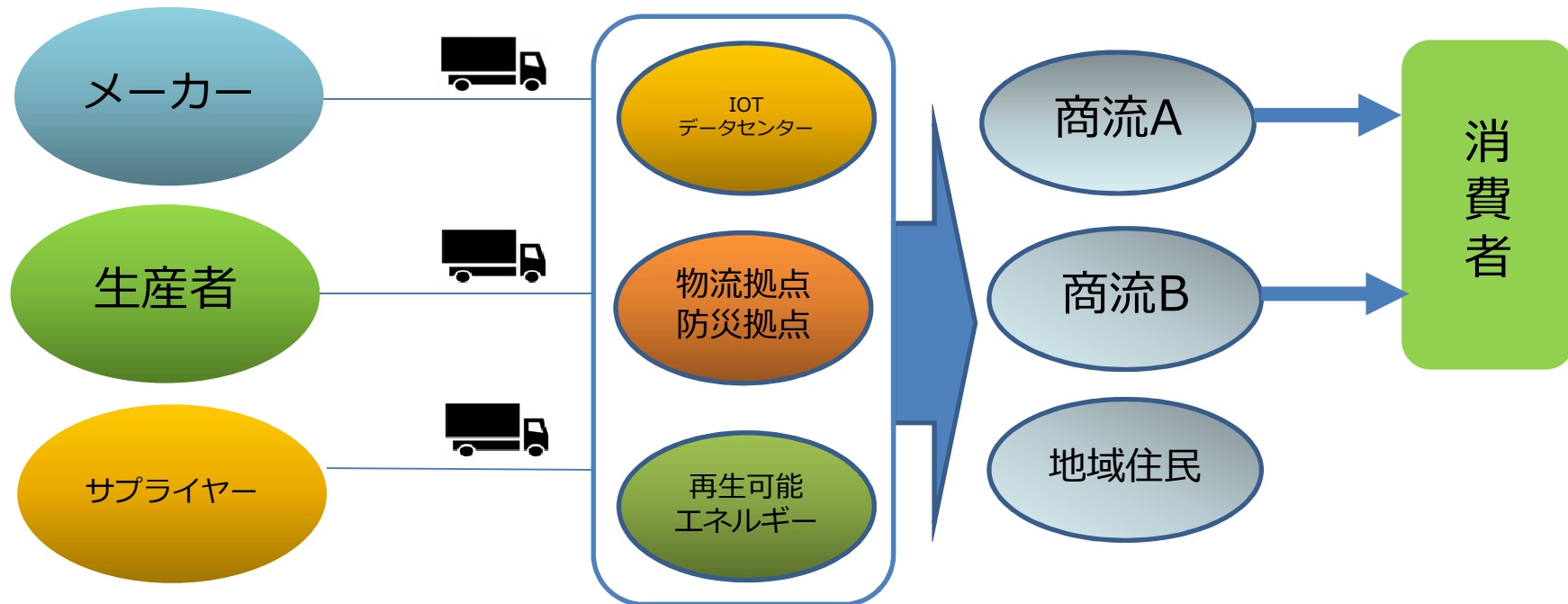
- ・大規模自然災害から市民の生命、財産及び社会経済機能を守る
- ・国・北海道の強靱化への貢献と、北海道、他市町村との連携を促進
- ・災害に強い地域社会や地域経済の実現と迅速な復旧、復興体制の確立



04 目指すべきサプライチェーンモデル

ビジョン

北北海道圏域の生産空間維持・発展に向け、地域の経済、産業、生活基盤をより強固なものにする為、
サプライチェーンの効率化を通じて、行政枠を越え、広域的に地域経済を活性化する。



北北海道圏域から道内・全国へのサプライチェーンの効率化

05 目指す物流拠点化グラウンドデザイン

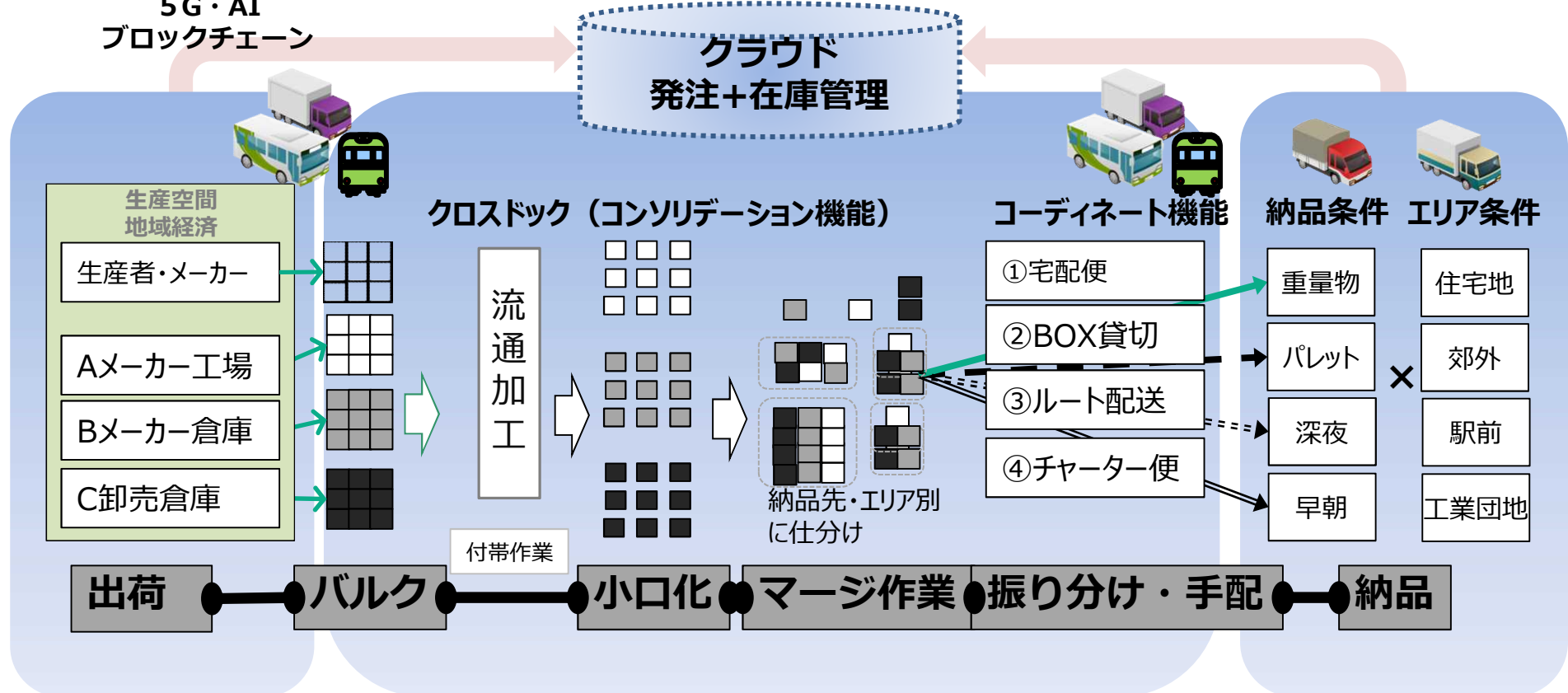
～行政・地域産業・物流交通事業者が共有できる仕組みの構築～

■ マテハンの共有 = 積載効率 + 作業効率

■ ICT連動 = (発注情報、郵便番号、仕分けコード)



5G・AI
ブロックチェーン



06 目指す防災拠点化グランドデザイン

